

EQUIPMENT AND TRAINING FOR RESCUE, SAFETY, AND ACCESS



CATALOG 128

ファイアーレスキュー	アーバンサーチ&レスキュー
コンファインドスペースレスキュー	パーソナルエスケープ
インダストリアルレスキュー	エアレスキュー
ワイルダーネスサーチ&レスキュー	ウォーターレスキュー

PRODUCT INDEX

ページ	内容	ページ	内容
3	用語解説	52-58	ロープ レスキュー キット
4	CMC テスト ラボ	59-61	アリゾナ ボーテックス & ウインチ
5-11	ハーネス	62-63	CSR & スケッド
12-24	ハードウェア	64-67	エスケープ & RIT プロダクト
25-28	ウェブ ギア	68-70	エアー オペレーション
29-36	ロープ & アクセサリー	71-77	ウォーター レスキュー
37-41	ロープ バッグ & バッグ	78	CMC インシグニア
42-45	パーソナル ギア & ライト	79	レスキュー マニュアル
46-51	リッター & アクセサリー		

The Artwork is Copyrighted by CMC Rescue, INC.

- ※ 仕様は改良のため予告なく変更される場合があります。
- ※ 寸法・重量等の数値は標準値です。製造上の誤差により多少異なる場合があります。
- ※ このカタログに掲載されている製品を安全に使用するためには、専門的な知識と技術の習得を必要とするものがありますのでご注意願います。

略称 (呼名)	: 名称
ANSI (アンシ)	: アメリカンナショナルスタンダードインスティテュート
ASTM (エーエスティエム)	: アメリカンソサエティーフォーテストイングアンドマテリアル
ATR (エーティーアール)	: エアクルートラベルレストレイント
BCCTR (ビーシーシーティーアール)	: ブリティッシュコロンビア州テクニカルレスキュー評議会
CI (シーアイ)	: コーデージンスティテュート (全米索具協会)
CSR (シーエスアール)	: コンファインドスペースレスキュー
E (イー)	: エスケープ
FAA (エフエーエー)	: フェデラルアビエーションアソシエーション (米連邦航空局)
FEMA (フィーマ)	: フェデラルエマージェンシーマネージメントアソシエーション (連邦緊急事態管理庁)
G (ジー)	: ゼネラルユース
HMD (エイチエムディー)	: ハズマツトデコンタミネーション
IMO (アイエムオー)	: インターナショナルマリタイムオーガニゼーション
ITRS (アイティーアールエス)	: インターナショナルテクニカルレスキューシンポジウム
kN (キロニュートン)	: キログラムニュートン $\approx 102 \text{ kg f}$
MA (エムエー)	: メカニカルアドバンテージ (倍力システム)
MBS (エムビーエス)	: ミニマムブレーキングストレングス (最低破断荷重)
NFPA (エヌエフピーエー)	: ナショナルファイヤープロテクションアソシエーション (全米防火協会)
PDA (ピーディーエー)	: パーソナルデジタルアシスタント (携帯情報端末)
PFD (ピーエフディー)	: パーソナルフローテーションデバイス (救命胴衣)
RIT (リット)	: ラピッドインターベンションチーム (検索救助隊)
SAR (エスエーアール)	: サーチアンドレスキュー
SCAB (エスシービーエー)	: セルフコンテインドブリージングアパレイタス (自給式呼吸器)
SEALS (シールズ)	: シールズ (米海軍特殊部隊)
SOLAS (ソーラス)	: セーフティーオブライファットシー
SRT (エスアールティー)	: スイフトウォーターレスキューテクニシャン
T (ティー)	: テクニカルユース
TI (ティーアイ)	: チタニウム (チタン)
TSO (ティーエスオー)	: テクニカルサービスオーダー
UL (ユーエル)	: アンダーライターズラボラトリーズ
USAR (ユースアー)	: アーバンサーチアンドレスキュー
USCG (ユースシージー)	: ユナイテッドステイトコーストガード (米国沿岸警備隊)

3 σ MBS (スリーシグマ エムビーエス) とは?

「そのカラビナはどのくらいの強度がありますか？」等のレスキュー機材の強度に関する質問には、比較的容易に返答できるでしょう。しかし、金属製 (アルミヤスチール) の同じ品番のカラビナでも破断荷重は微妙に異なります。違いはわずか100ポンド (45.3kg) くらいかもしれません。NFPAの示す試験方法で5検体を破断させると、5つの異なった数値が得られます。その平均値が表記されることになれば、あなたが持っている同じ品番のカラビナがそれより弱い可能性は高くなります。もし、試験結果の一番低い数値が表記されたとしても、あなたが持っているカラビナがそれより弱い可能性は残り、どれくらい弱いのか知る術はありません。これを産業界では、統計学に基づく3 σ (標準偏差) という公式を用いて試験値を計算し、最低破断荷重 (MBS) を99.87%の精度で表すことで解決しています。

NFPA 1983 (2012版) ではレスキュー機材に要求される性能を明記しています。例えば、ゼネラルユースカラビナの3 σ MBS値は40kN以上でなければなりません。破断試験は5検体を使用し、3 σ MBS値を計算します。2006年より製造メーカーにNFPAの定める基準値、または5検体の試験で得られる3 σ MBS値を超えない範囲で基準値より高い数値を製品に表記することを許容しています。CMCレスキュー社では、基準値または3 σ MBS値を製品に表記する場合があります。

注意 このカタログに記載されている3 σ MBS値は、カタログ作製時の数値です。破断試験が再度行われた場合は、その値が変わる場合があります。